



# 推進協だより

2020年9月号

発行；藤沢市瀬郷1008-1

光友会事業推進協議会 事務局

## WEBでの5役会議を開催！

8月27日、推進協としては始めてWEB会議による5役会議を行いました。概要について本号にてお知らせいたします。また、拡大5役会議とし、各事業所長にも参加いただき、情報共有と今後に向けての取り組みについて意見交換を行いました。以下に、その内容を掲載いたします。

### 【WEBでの3役会議の様子】



画面左上が眞鍋副会長  
左下が村瀬会長  
右上が松井副会長  
右下が一杉調整役

### 【村瀬会長挨拶】

・コロナウイルスが蔓延する中で、このような工夫で課題解決ができるようにしていきたいので、ご協力をお願いしたい。

【議題】各課題について説明後、意見交換を行いました。

#### 1. 役員の役割の明確化について

コロナ時代への対応としての運営方法（機能）の明確化

- ・3役会：推進協各事業の方向性の検討と提案（WEB会議で月1回程度）
- ・5役会：各事業についての方向性の共有及び日常業務運営についての確認（WEB会議で3月に1回程度）
- ・企画運営会議：行事の運営等についての確認及び事業所内の取り組み報告（書面による開催とし、半年に1回程度）⇒5役会議が終了した時点で書面会議等に対応。

- ・代議員：総会での意見反映（年1回）

### 【意見交換】

- ・提案通りが良いが、家族部会の意見集約と共有についての場を設けてほしい。
- ・家族懇談会は毎年行っているため、この状況下でも工夫して実施してほしい。
- ・懇談会と企画運営会議は分けておく必要がある。
- ・両方の会議とも重要なものなので工夫して実施することが必要に思う。
- ・接点に所長が存在しているため所長自身が責任をもって情報を共有を進めてほしい。
- ・各所長からは、ご家族の意見を踏まえて活動につなげたい。ご家族と事業所の関係をしっかりつなげていきたい。などの意見が出されました。

### 2. 各部会への推進協活動の理解度促進について

#### 【3 役会意見交換による課題の共有】

- ・新しい事業所である「ひだまり」の状況（困りごとなど）が見えてこない。
- ・希望の郷は利用者への面会が中止されている。利用者のストレスへの改善を望みたい。  
⇒改善：8月より15分の面接を可能とした。その他、Lineの活用も考えたい。
- ・コロナで制約を受けている状況だが、利用者サービスを考えたとき、正常な状態に戻して行く必要を感じている。

●家族部会がこのような状況の中で開催されておらず、取り組みに不安を持つ御家族もいらっしゃることを考えると、それに代わる工夫が必要に思う。

### 3. 情報共有について

#### 【3 役会からの意見】

- ・狙いとして流れを良くするには・・・を中心に意見交換を実施。
- ・会員への情報をまず手始めとして、19年度の事業報告、決算報告及び20年度について同様の内容を伝えていく必要がある。（推進協だより8月号で実施）
- ・今年度の会費集約状況も触れていく必要を感じる。（推進協だより8月号で実施）
- 5 役会議は、拡大して職員部会長（部長）にも参加する機会を設けてほしい。

※今回の5 役会から参加していただきました。

### 4. その他

#### 【課題】

- ・将来に向けての後継者づくり（後任）をどうするか？
- ・会計担当者の後任選びはかなり大変だと思う。それなりのPCスキル等が必要であり、人選も難しい。  
●職員が会計を担当することはできないか？  
⇒県の監査で指摘されており、かなり難しいが現在調整役が検討していることもあり、次回までには提案する予定。

※調整役が次回 5 役会までに提案できるようにする。

- ・ゆうびん振込用紙の見直しも必要である。効率的に仕分けできるような工夫を次回以降は取り組んでほしい。

⇒現在使用している用紙は、これまでの在庫を活用しているため紙面に余裕がない。次回以降は、新しい書式で事務処理するときにやりやすい形式に変える予定である。

●振込用紙の新様式案を作成したので確認してください。

- ・光友会の今後を考えたとき、「五十嵐イズム」を持った後継者づくりも重要である。

●推進協会費納入状況について 5 役会で報告する。

●補正予算を作る必要性がある。

●法人行事について

11 月に予定していたむら祭りは、「コロナに負けるな花火大会（仮称）」の企画に変更し実行委員会で検討することとなった。

【意見交換】参加者からの意見等

- ・今年度の取り組みですそ野を広げたと感じている。（会費納入につながっている）

- ・会費納入状況：8月19日現在 1,276千円、会員数308名

郵便振り込み203名（昨年60名）

この状況から、振込手数料が増加した。

- ・新規の職員、利用者への推進協の説明を行ってほしい。

⇒重要事項の説明時に推進協の説明を行っている。（寒川事業所）

- ・対象者全員に推進協の案内を出していただいたので会費が増加した。

結果、強制的に会費は納めるのかとの問い合わせも来たが、それだけすそ野を広げたということだと感じた。

- ・会長が各事業所を巡回して知ってもらうことも検討してほしい。

【提案】8月末頃までに企画運営会議（書面）の実施⇒推進協だよりの掲載内容で良いのではないかと？それをもって意見をもらうことにしてはどうか？

【確認】特に意見はなかったため、推進協だよりを基に各事業所長が利用者部会長及び家族部会長と話し合いを持ち、情報を共有し、課題有れば次回 5 役会で提案することとする。

## 事業所紹介！

【ケアセンター】デイサービス

午前中に外出をして、外で昼食を済ませ、身体を動かしたり、人々と交流したりして夕方に自宅に帰る普通の日課をデイサービスとホームヘルパーのサービスを通じて提供します。

デイサービスでは機能訓練や余暇活動、入浴などを、ホームヘルパーはひとりでは外出することが困難な方の移動を支援します。

介護を必要とされている方々の地域での生活が少しでも快適になるようにお手伝いさせていただきます。

#### 【日常活動の様子】



#### 【藤沢サンライズ】グループホーム

藤沢サンライズは藤沢市内の北部御所見地区に2カ所、湘南台地区に2カ所、(サテライト1カ所)大庭地区に1カ所、計5つのグループホームで、30名の方が自立した地域生活を送っています。障害の種別は様々ですが一つ屋根の下で、それぞれが自分の生活を大切にさせていただくことはもとより、他人の生活を大切に出来る共同生活を目指し1ホーム4名～9名での共同生活をしています。それぞれの地域の中で暮らし、地域に支えられる関係を築いています。

#### 【日常活動の様子】



#### 【編集後記】

暑い夏も過ぎ、日ごとに朝晩は涼しさを感じられるようになってきました。推進協の活動も、もうすぐ半年をすぎようとしています。コロナウイルスの影響から停滞してしまった部分もあります。今回は、そうした課題について現場を預かる所長の方々にも参加していただき、情報共有する中で利用者やご家族との連携も進めていける工夫をしようということで共通認識に立ちました。今後、皆様のごところにそうした連絡があると思います。その節は、よろしくお願い申し上げます。(調整役 ひとすぎ)